



フレッド・ブロック

カリフォルニア大学デーヴィス校社会学部教授 (Research Professor)

最近の研究により、民間経済における技術開発に米国政府が本質的な役割を演じたことを実証した。過去 30 年間、政策立案者や専門家が「自由市場」を賛美していた一方で、現実には、公共部門がその研究成果を研究所から市場へと移行する取組を大規模に展開していた、というものであった。この近年に構築されたイノベーション・システムの様々な側面は、著作『イノベーションの国：技術開発における米国政府の役割（仮訳）（原題：*State of Innovation: The U.S. Government's Role in Technology Development*）』（マシュー・R・ケラーとの共編、Routledge, 2011）に収められた事例研究で描き出されている。他の著作に、『市場原理主義の力：カール・ポランニーの批評（仮訳）（原題：*The Power of Market Fundamentalism: Karl Polanyi's Critique*）』（マーガレット・R・サマーズとの共著、Harvard University Press, 2014）など。2018 年には『資本主義：錯覚の未来（原題：*Capitalism: The Future of an Illusion*）』（University of California Press）を刊行予定。現在は、官民連携の新たな文脈におけるイノベーションを支援するために必要とされる財政改革や新たな制度を中心に研究している。過去の著作に『国際経済混乱の起源（仮訳）（原題：*The Origins of International Economic Disorder*）』（University of California Press, 1977）、『脱工業化の可能性（仮訳）（原題：*Postindustrial Possibilities*）』（University of California Press, 1990）、『ヴァンパイア・ステート（仮訳）（原題：*The Vampire State*）』（The New Press, 1996）などがある。